

徳島大学大学院創成科学研究科

臨床心理学専攻

Division of Clinical Psychology

令和8（2026）年4月入学
大学院入試説明会

大学院創成科学研究科 臨床心理学専攻について

大学院創成科学研究科について

博士後期課程（2022年度より新設）



大学院 創成科学研究科

博士前期課程

地域創成
専攻

臨床心理学
専攻

理工学
専攻

生物資源学
専攻

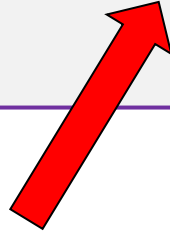
柔軟な分野横断型教育の導入

学部

総合科学部

理工学部

生物資源
産業学部



臨床心理学専攻の教育課程の特色

地域社会の心の健康回復と保持増進に貢献

臨床心理学専攻

Division of Clinical Psychology

教育内容

臨床心理学の諸分野における
高度な専門的知識・汎用的知識
関連領域に関する
幅広い知識，論理的思考力



専門資格（臨床心理士・公認心理師）取得

心の健康の回復と保持増進の観点から
地域社会に貢献する人材を育成

徳島大学における臨床資格取得

心の健康の回復と増進：学部・心身健康コース＋ 博士前期課程 臨床心理学専攻

心身の健康の回復と増進を実現する能力を，学部と大学院博士前期課程の6年間で養成

大学院博士前期課程
臨床心理学専攻

臨床心理士

幅広い領域で「こころのケア」に対応できる
臨床心理の高度専門職業人（臨床心理士）
の養成

公認心理師

幅広い領域で「こころのケア」に対応できる
専門職業人（公認心理師）を実践課程にて
養成

高度な実践の展開

臨床心理実習A・B 他

実践の展開

心理実践演習Ⅰ～Ⅵ他

公認心理師

幅広い領域で「こころのケア」に対応できる
専門職業人（公認心理師）を理論と実践の
課程にて養成

実践

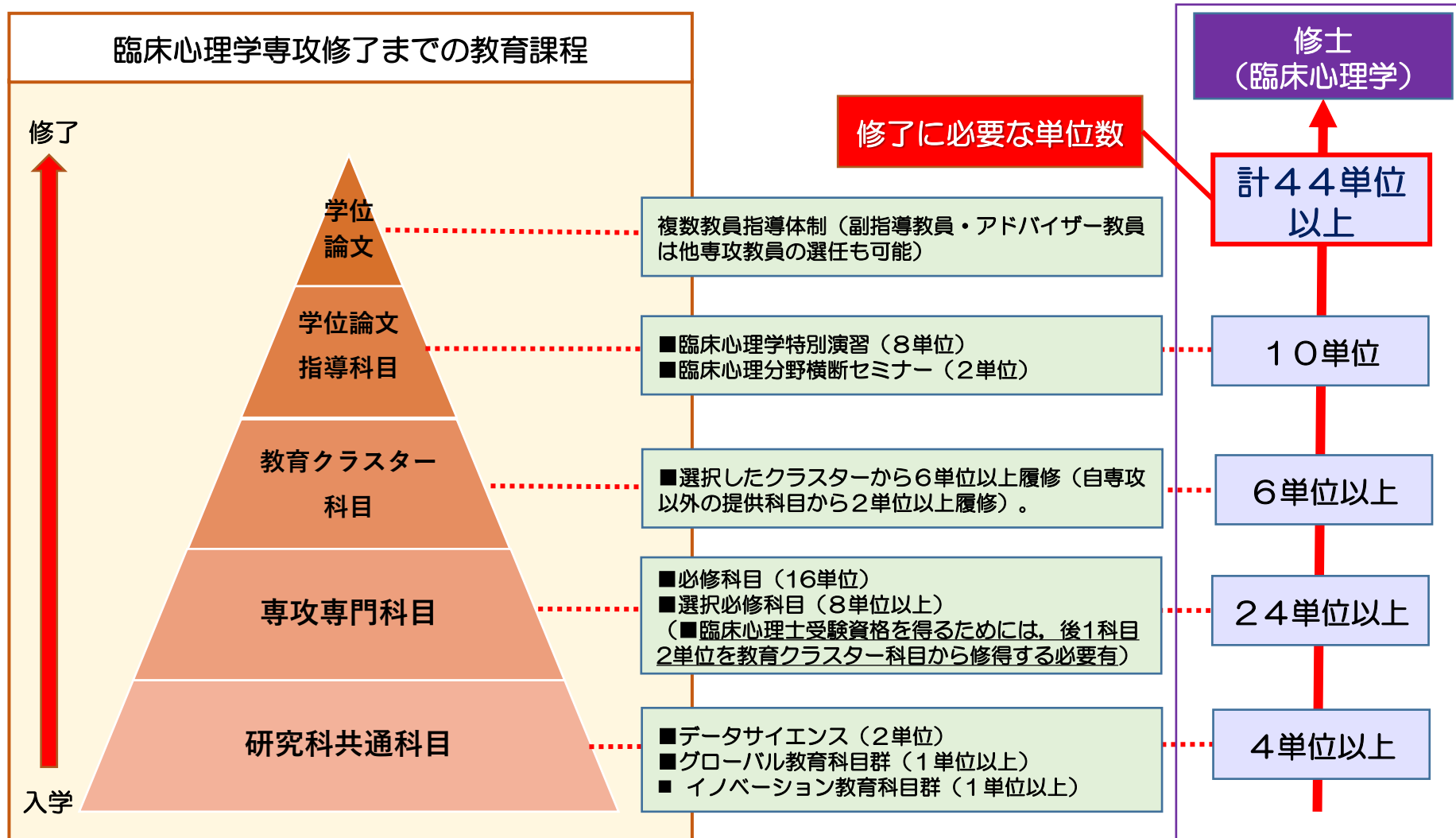
心理演習
心理実習 他

理論

臨床心理学
心理学実験 他

総合科学部
心身健康コース

臨床心理学専攻の教育課程



臨床心理学専攻の学びの特色①

分野横断により総合的視点を醸成するカリキュラム

■研究科共通科目

(データサイエンス, グローバル教育科目, イノベーション教育科目 等)

文系・理系の枠を超え, 物事を多面的に捉える視点を身につける。

■教育クラスター

産業界や社会のニーズを踏まえた重要課題について, 学際的・分野横断的な知識・技能を身につける。

専攻推奨クラスター

防災・危機管理, メディカルサイエンス, ロボティクス・人間支援,

■臨床心理分野横断セミナー

研究室を超えた学生が共同で文献講読や研究発表を行い討議し, 専門分野の狭い枠にとどまらない多面的な視点を養う。

専攻横断

専攻内横断

臨床心理学専攻の学びの特色② 専攻専門科目

履修の基本方針

■必修科目16単位に加えて選択必修科目8単位以上を取得する。ただし、**臨床心理士**受験資格を得るためには、選択必修科目について、A～E群から各2単位以上、合計10単位、合計26単位を取得する必要がある。**公認心理師**受験資格を得るためには、自由科目を含めて、所定の単位を修得する必要がある。

■指導教員と十分相談の上、将来の進路、大学院における研究テーマ等も踏まえて履修科目を決定する。「履修モデル」を参考に履修科目の検討を行う。

必修科目

必修科目は以下の科目群から構成される。

①臨床心理学に関する科目

●臨床心理学特論A、臨床心理学特論B

②面接に関する科目

●臨床心理面接特論A、臨床心理面接特論B

③査定に関する科目

●臨床心理査定演習A、臨床心理査定演習B

④実習に関する科目

●臨床心理基礎実習A、臨床心理基礎実習B、
臨床心理実習A、臨床心理実習B

選択必修科目

選択必修科目は以下の科目群から構成される。

①A群

●行動科学、認知心理学特論演習

②B群

●認知心理学特論、生涯発達心理学

③C群

●社会心理学特論、（家族心理学特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践））

④D群

●精神医学特論、障害臨床心理学特論

⑤E群

●心理療法特論、臨床心理的地域援助特論

自由科目

自由科目は以下の科目群から構成される。

●学校臨床心理学特論（教育分野に関する理論と支援の展開）

●犯罪心理学特論（司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開）

●産業・労働分野に関する理論と支援の展開

●家族心理学特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）

●心の健康教育に関する理論と実践

●心理実践実習

臨床心理学専攻の履修モデル （「防災・危機管理クラスター」を履修）

被災者の心理的支援人材

選択するクラスター	防災・危機管理
養成する人材像	臨床心理学とその関連領域に関する幅広い知識と論理的思考力を備え、心の健康の回復と保持増進の観点から、持続可能な社会の構築に貢献
活躍できる職種・業種、就職先等	被害者支援センター、警察被害者支援室、研究職など。病院、児童相談所、学校、企業等の心理専門職・カウンセラーなど。

年次 科目区分	1年次		2年次		必要単位数
	前期	後期	前期	後期	
学位論文指導 （10単位）	●臨床心理学特別演習②	●臨床心理学特別演習② ●臨床心理分野横断セミナー②	●臨床心理学特別演習②	●臨床心理学特別演習②	10
教育クラスター科目 （6単位以上）	学校臨床心理学特論②	家族心理学特論（家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践）② 行動科学②/メンタルヘルスケア②		（行動科学②（臨床心理士資格））	6
専攻専門科目 （24単位以上： 右記は例示）	●臨床心理学特論A	●臨床心理面接特論A②	●臨床心理面接特論B②	●臨床心理学特論B②	24
	●臨床心理査定演習A②	●臨床心理基礎実習B①	●臨床心理査定演習B②	●臨床心理実習B①	
	●臨床心理基礎実習A①		●臨床心理実習A①		
	精神医学特論②		認知心理学特論演習②	生涯発達心理学特論②	
	心理療法特論②		社会心理学特論②		
	臨床心理的地域援助特論②		障害臨床心理学特論②		
	認知心理学特論②				
研究科共通科目 （4単位以上）	●データサイエンス②				4
	グローバル社会文化論①				
	デザイン思考演習①				

●印は必修科目を表す。授業科目名の後のマル数字は単位数を表す。

※公認心理師受験資格を得るためには、上記以外に、所定の科目の単位を修得する必要がある。

44

臨床心理学専攻の学びの特色③

充実した学内・学外実習

● M1

M1の春（5月頃）にワクチン接種を受けます。

学内・学外実習：
約75時間
心理実践実習1

M2

学内実習：
約135時間
心理実践実習2,3
（臨床心理実習A）

学外実習：
約315時間
心理実践実習4,5,6
（臨床心理実習B）

●学内：臨床心理相談室

3つの相談室、2つのプレイルームがあり、社会人の利用に対応して19：00まで開室する。

学外：5領域を網羅する多数の学外施設

徳島大学精神科など県内30を超える実習施設と連携。医療・保健、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働領域のそれぞれに応じた実習施設がある。

入試について

試験日程・募集人員

臨床心理学専攻

一般・外国人留学生特別・社会人特別入試
I 期

出願期間： 7月22日（火）～7月24日（木） 17時（学務係必着）

試験日 令和7年8月25日（月） 9時～
専門科目・面接

募集人員12名

合格発表：令和7年9月17日（水） 10時

試験について（募集要項p.7）

- 筆記試験：臨床心理学
 - 英語による心理学に関する問題
 - 臨床心理学（基礎心理学を含む）
- 面接：口述試験（1人10分）
- 提出書類（志望動機，これまでの学修・研究の経過，今後の研究計画など）の内容等について十分に説明できるように準備しておく。

過去の入試問題の閲覧について

- **臨床心理学専攻**で過去に出題された筆記試験の問題
下記のHPで閲覧可能
(著作権法に触れない範囲で公開)

https://www.ias.tokushima-u.ac.jp/admission/graduate_school/

出願前に必ず教員と相談を（募集要項p.5, 注3）

出願前に、指導を受けたい教員に連絡し、大学院での研究に関する相談をしてください。

- まずはメールで連絡
- 大学院での研究テーマ，研究方法，研究の進め方などについて相談
- その上で，今後の研究計画などの提出書類を作成

志望者が多い場合は，志望指導教員の指導を必ず受けることが出来る訳では無い

希望する指導教員と事前に研究相談を（募集要項p.11）

臨床心理学専攻 教員9名

- 内海 千種： 犯罪被害や被災等のトラウマ体験と精神的健康に関する研究
- 佐藤 健二： ト라우マ・不安・抑うつ等の認知行動論（マインドフルネス等を含む）的研究
- 佐藤 裕： 知覚機構や認知機能に関する研究
- 山本 哲也： 心を理解・調整するための臨床心理学および心理情報学的研究
- 榎本 拓哉： 神経発達症群の児童・家族を支える支援システムの開発に関する研究
- 甲田 宗良： 認知行動療法やマインドフルネスのメカニズムおよび社会実装に関する研究
- 津村 秀樹： ストレス，抑うつ，不安，依存等の認知生理心理学的研究
- 福森 崇貴： がんや慢性疼痛等の身体疾患患者及び医療従事者の精神的健康に関する研究
- 横谷 謙次： 家族・コミュニティ・犯罪に対する心理学的研究

学びのサポート

入学後の学修支援, 注意事項

- 授業料の減免制度（半期ごとに申請）
- 各種奨学金
- TA（ティーチングアシスタント）
- 学会参加補助
- 学生表彰
- 注意事項：
 - 社会人対応で、基本的な授業は夜間（18:00～21:10）。
 - ただし、M2からは学内外実習が昼間に
 - さらに、M1後期からも学外実習が昼間に始まる
 - 他専攻科目には昼間の科目もある
→ M1からも昼間も空けた上で受験する

社会人入学を考えている方へ

- ・授業の開講については、可能な範囲で柔軟に対応（夜間開講を含む）

※ただし、昼間の授業、実習もあるので注意

- ・メール，zoomなどによる遠隔指導
- ・長期履修制度

仕事の都合等で、2年間（標準修業年限）を超えて計画的に教育課程を履修，修了したい。

→2年分の授業料を，許可された期間（最大4年）に分割して納入できる。

3年間で計画的に修了

1年目

2年目

3年目

授業料は2年分



大学院修了後の進路

地域・社会で求められる保健・医療関連人材

過去3年間(当時)に徳島大学に求人募集のあった全国の企業・団体等4,118件に大学院創成科学研究科修士課程各専攻修了生を問うアンケート調査を実施(2019年1月実施, 回答数721)。



71.4% の「医療・福祉」系企業・団体が、
徳島大学院修了生を「積極的に採用したい」
「採用したい」「採用する可能性はある」と回答

就職率は100%



大学院修了後に想定される進路

保健医療



病院・診療所 等

福祉



児童相談所，発達障害者支援センター 等

教育



学校，教育委員会 等

司法・犯罪



少年鑑別所，少年院，被害者支援室 等

産業・労働



組織内健康管理センター・相談室，
地域障害者職業センター 等

創成科学研究科博士前期課程
臨床心理専攻で

臨床資格取得

徳島大学における臨床資格取得

大学院博士前期課程
臨床心理学専攻

臨床心理士

幅広い領域で「こころのケア」に対応できる
臨床心理の高度専門職業人（臨床心理士）
の養成

公認心理師

幅広い領域で「こころのケア」に対応できる
専門職業人（公認心理師）を実践課程にて
養成

高度な実践の展開

臨床心理実習A・B 他

実践の展開

心理実践演習Ⅰ～Ⅵ他

公認
心理師

4年制大学に
おいて省令で
定める科目を履修

臨床心理学専攻入学

省令で定める科目を履修

研究科共通科目

専攻専門科目

教育クラスター科目

学位論文指導科目

日本臨床心理士資格認定協会が
定める科目を履修

修了時受験資格を取得

公認心理師

試験

筆記試験のみ

公認心理師

として
登録

臨床
心理士

4年制大学を卒業

臨床心理士

試験

1次試験 2次試験
(筆記+論文) (面接)

臨床心理士

として
登録

本学のPoint! 総合的で分野横断型の知識を獲得

創成科学研究科博士前期課程
臨床心理専攻
には他大学にはない魅力がいっぱい！

皆さんと共に学べることを
楽しみにしています